

令和7年度 世田谷区立 喜多見小学校  
学校関係者評価自己点検表

		A	B	C	D	E
		とても思う	思う	あまり 思わない	思わない	わからない
<b>1</b>	<b>学習指導について</b>					
	自分は、子どもたちが考えることや、課題を解決することを大切に授業を行っている。	15	15	1		0
	自分は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	8	18	5	0	0
	自分は、子どもの話し合ったり発表し合ったりする機会を作っている。	13	17	1	0	0
	自分は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	5	20	6		0
	理由 ・児童の実態に沿って、想像しにくいものや理解しにくいものは映像やタブレットの資料などを用いて授業をするようにしている。 ・視覚優位の児童にとって整理された板書・提示ができるようにした。 ・多くの子どもが自分の考えをもてるよう、導入を工夫できる授業を増やしていく。 ・タブレット操作に時間がかかることがあるので、自己研鑽していく。授業改善に努めていく。 ・特別支援について学び、改善していきたい。					
	【改善策・考察】 ・「世田谷探究的な学び」を意識して、今後も授業を行っていく。 ・国語で研究授業を行っているので、学校全体として、子どもたちが話し合ったり、発表し合ったりする機会が設けられている。子どもたちが自分の考えをしっかりとつとめることが交流につながる。・今後も引き続き、授業のねらいをはっきりとさせ、子どもたちが、主体的に学べる授業作りを行っていく。 ・ICTの活用については、研修などで活用に仕方を共有していく。児童には、タブレットの使い方について指導を続ける。					
<b>2</b>	<b>生活指導について</b>					
	自分は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	14	15	2	0	0
	本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	15	14	2	0	0
	理由 ・ルールについては繰り返しその場、その場で指導が必要だと思う。日々児童の生活の様子を見て、気になることがあれば都度声をかけたり、クラスの話題として取り上げたりしていく。 ・学校のルールに関しては喜多見スタンダードで確認したり意識するような声掛けをしたい。					
	【改善策・考察】 ・喜多見スタンダードの見直しを図っていく。細部にわたってのことが書いてあるので、本当に必要なことか、徹底して行くにはどうしたらいいかなど検討していく。 ・多くの教員が子どもに考えさせることを意識して指導している。今後も考えさせる指導を継続していく。					
<b>3</b>	<b>学校行事(運動会、学芸会、宿泊行事など)について</b>					
	学校行事は、子どもにとって楽しい。	21	10	0	0	0
	学校行事は、子どもにとって達成感がある。	17	14	0	0	0
	自分は、子どもの意欲を大切にしている。	20	11	0	0	0
	理由 ・学習発表会の形態をとったことはよかった。 ・学校関係者評価では、行事に対する評価が高かったため、今後も継続していく。 ・子どもたちが行事によって伸びる、達成感を感じる事ができた。					
	【改善策・考察】 ・学芸会の要素を排除できなかった。今後は検討を続ける。 ・運動会について、テントの件など熱中症対策を検討していく。 ・一人ひとりに目標やめあてを設定させ、振り返らせることで達成感を味わえるようにしていく。 ・配慮を要する児童の行事への参加の仕方、保護者との連携は今後も必要と感じた。					
<b>4</b>	<b>キャリア教育について</b>					
	自分は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	3	26	1	0	0
	本校では、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	4	24	2	0	0
	理由 ・キャリアパスポートを活用し、振り返りをする事で、自己肯定感を高める事ができた。 ・様々な学習や行事を通して、自分を見つめたり他者とかがかわったりする機会を設けた。					
	【改善策・考察】 ・キャリア教育について広く保護者や地域に伝えることができなかった。様々な場で伝えていく。 ・キャリアパスポートを一つの手段として、児童の自己理解を促し、明るい未来を想像する児童の心の育成を続けていく。					
<b>5</b>	<b>教職員について</b>					
	本校の教職員は、丁寧に指導している。	17	13	0	0	1

本校の教職員は子どものことを相談しやすい。		13	18	0	0	0
理由 ・丁寧かどうか、自己評価がしづらい。						
【改善策・考察】 ・学校全体として、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、指導を行っている。今後も継続していくと共に、特別支援教育の視点を学んでいく。						
<b>6 全般について</b>						
本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。		6	25	0	0	0
子どもは、家庭で自主的に学習をしている。		2	10	12	4	3
本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。		2	23	3	0	3
本校の教育活動に満足している。		7	20	4	0	0
子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。		5	22	4	0	0
理由 子どもにとって楽しいかは、学校関係者評価では高い値が出たが、その判断基準があいまい。 ・家庭学習においては積極的にタブレットを活用していくことで自主的に取り組めると思う。宿題はやろうとする気持ちは増えたが、「自主的」なものかは判断しがたい。自主的に勉強する方法を指導していく必要がある。 ・「いいあせかこう」の取り組みが薄い感じがする。学び舎の連携としても、改善していくか、ほかの形にしていくか検討したい。						
【改善策・考察】 学校生活について、学習面も生活面も安心して生活できるような人間関係を子どもたち同士で築けるようにする。 家庭学習については、タブレットの活用が有効的だという意見もあるので、よりよい活用法を教員間で共有していく。 学び舎については、1小1中の関係を生かし、よりよい活動を考えて行く。						
<b>7 学校からの情報提供について</b>						
本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。		15	15	1	0	0
「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。		4	20	5	0	2
本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。		10	20	1	0	0
本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。		5	18	7	0	1
理由 ・すぐるを活用し、情報を伝えることができた。 ・ホームページは、行事の様子を伝える程度になっている。						
【改善策・考察】 ・ホームページを定期的に更新できるようにする。お知らせが多いので、学校の様子がわかるものにしていく。						
<b>8 学校運営について</b>						
学校の重点目標が明確である。		20	10	0	0	0
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。		12	18	0	0	1
理由 ・重点目標はわかりやすかったが、実践していくには具体的に欠けるように感じる。						
【改善策・考察】 ・笑顔でいられる、楽しいと感じるのはどういう時、どういう場面なのかを考え学校全体で実現できるように、職員で協力していく。						
<b>9 家庭と学校との連携について</b>						
保護者は、学校公開にすすんで参加している。		20	11	0	0	0
私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。		5	20	5	1	0
私は、今年度の学校重点目標を理解している。		10	21	0	0	0
理由 ・PTAや地域の行事は、授業中や休日に行われることが多く、参加が難しかった。						
【改善策・考察】 ・多くの保護者は、学校公開に参加している。今後も多くの保護者が参加できるように公開の日程を考えていく。土曜日のあり方を再検討する。						
<b>10 地域との連携について</b>						
本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。		15	14	2	0	0
本校は、地域の活動などに協力的である。		10	20	0	0	1
理由						

・喜多見地区区民祭りには参加が多かった。						
【改善策・考察】 ・地域のみなさんがとても協力的なので感謝をしつつ、今後も生かしていく。謝礼などを検討していく。						
<b>11</b>	<b>学校の安全性について</b>					
	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	15	16	0	0	0
	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	15	16	0	0	0
	本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	5	14	2	0	0
	理由 ・地震の対策は避難訓練などできちんとできた。反面、降雨水害の対策が本校では必要なのではないか。					
【改善策・考察】 ・防災ノートの活用を今後も継続する。 ・マイタイムラインは、場所がら水害をイメージした対応が必要と考える。家庭で取り組むものなので、保護者会や学年だより等で協力を依頼する。						
<b>12</b>						
	子どもたちは、あいさつをよくする。	2	19	9	1	0
	子どもは、場に応じた言葉遣いができる。	1	13	17	0	0
	子どもは、文字を読むことが好きである。(デジタルを含む。)	1	15	14	0	1
	子どもは、登下校時に交通ルール守り、安全に登下校している。	1	16	14	0	0
	子どもは、学習用品スタンダードに従って、タブレットを家庭で使用している。	0	5	14	10	2
	子どもは、学校で決められた時間(週時程表や喜多見小学校スタンダード)を守っている。	1	15	14	0	1
	子どもは、提出物を期日までに提出している。	3	19	7	0	1
	私は、幼稚園・保育園から中学校までの連携教育や世田谷区独自の教育活動について知っている。	1	10	20	0	0
	理由 ・スタンダードの観点からすると、評価が低くなってしまう。 ・自分からすすんでということが多いので、課題ではある。					
【改善策・考察】 ・あいさつ、言葉遣いについては、教員が率先してあいさつ、丁寧な言葉遣いをするようにする。また、合わせて家庭と連携していく。 ・登下校のルールは、そのルールがなぜ必要なのかを根気強く考えさせていく。大きな声で話しながら歩く、広がって道を歩くなど今後も引き続き指導が必要と感じる。						